

水産業強化支援事業事後評価報告書

		作成部署名 岩手県農林水産部水産振興課
政策目的	漁港機能の高度化	
政策目標	漁港機能高度化目標	30-7 ※計画書記載の事業No.
事業実施主体	岩手県	
実施地区名	岩手県大船渡市吉浜字根白	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成30年度	令和3年度
交付金額	12,356,820円	
事業計画の内容	用地舗装 A=6,321m <sup>2</sup>	
評価	成果目標	用地舗装整備により、漁具の運搬回数の削減を図る。（運搬回数12回/年→0回/年）
	現状値	運搬回数 0回/年(令和3年度末時点)
	目標値	運搬回数 0回/年(令和3年度末)
	(1) 現状値の説明	用地舗装により定置網等漁具の干場及び置場として利用可能となったことから、漁具を漁港区域外まで運搬することはなくなった。
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)	本事業で用地が舗装されたことにより、漁具の運搬回数が削減され、漁業作業の軽労化が図られるとともに、陸揚げ・集荷・準備作業にも活用可能となり、一連の漁業活動の効率化に係る人的コストの削減や漁業生産力の向上等の経済効果が得られた。
	(3) 所見	野積場用地、漁具保管修理施設用地(漁具干場)、養殖用作業施設用地の舗装により、漁具の干場及び置場利用や陸揚げ、集荷・準備作業に活用され、漁業活動の効率化が図られた。
(4) 評価機関への意見等		
今後の改善方向等に関する分析		

水産業強化支援事業事後評価報告書

		作成部署名 岩手県農林水産部水産振興課	
政策目的		水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標		資源増養殖目標	30-2 ※計画書記載の事業No.
事業実施主体		田老町漁業協同組合	
実施地区名		岩手県宮古市田老地区	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和3年度
交付金額		14,775,000円	
事業計画の内容		老朽化により壁面の劣化が著しく残餌等が滞留していたサケふ化場の飼育池を壁面塗装することにより、壁面が平滑化され池掃除の省力化を図るもの	
評価	成果目標	池掃除の省力化による作業時間の短縮（1,080時間/年→720時間/年）	
	現状値	作業時間 0時間/年（令和3年度末）	
	目標値	作業時間 720時間/年（令和3年度末）	
	(1) 現状値の説明	<p>本県のサケ漁獲量が近年極端な低水準にあり、特に令和3年度の水揚げは413トンと、震災前5ヶ年平均の2%まで激減し、種苗生産に使用するサケ親魚を十分に確保できない状況となっている。</p> <p>事業実施主体である田老町漁業協同組合は、河川遡上に加え、海産親魚を使用した種卵の確保など目標の達成に努めたが、当該漁協が所有する3ふ化場全てに収容できるほどの稚魚を確保することは困難という見込みから、水温が高く成育環境が良好なふ化場に生産を集約することとし、当該ふ化場に稚魚を収容することがないまま終了となった。</p>	
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)	<p>ふ化場作業員の池掃除に係る作業時間が低減されれば、稚魚の飼育管理にあてる時間が増え、放流稚魚の健苗性が向上し、サケ資源の回復に伴う定置網の水揚げ回復や漁協経営の安定化に資するものであったが、記録的なサケの不漁により種苗生産が困難となったことから、経済効果を生むことはできなかった。</p>	
(3) 所見	<p>当該施設は、毎年サケ稚魚を生産し本県におけるふ化放流事業に貢献してきた。本事業実施後は、施設の機能が強化されたところであるが、令和3年度は、種苗生産に使用するサケ親魚の確保が困難な中、事業実施主体である田老町漁業協同組合は海産親魚を使用し目標の達成に努めたが、当該ふ化場に収容する稚魚の確保ができなかった。これは、近年のサケ資源低迷の影響であり、やむを得ないものである。</p>		
(4) 評価機関への意見等			
今後の改善方向等に関する分析		<p>稚魚生産に使用する親魚の確保が困難な状況は今後も続くと考えられ、引き続き海産親魚を使用するなど種卵の確保を強化し、回帰率の向上を図る必要がある。</p> <p>また、秋サケの漁獲量を回復させるためには研究機関と連携して種苗生産方法の改良等に取り組む必要がある。</p>	